

まちの話題



ISA City Topics



家族で楽しめる体験イベント



5月5日のこどもの日に、十曾青少年旅行村で体験イベントが行われました。

内容は、ピザ・ちまき・パフェ作り体験やカラーサンド・ハーバリウム体験、多肉植物寄せ植え体験、手づくり雑貨など多岐にわたり、周辺ではハンモックやスラックライン、ストライダーなども楽しめました。

約180人が来場し、親子でいくつもの体験コーナーを巡るなど、大変賑わっていました。

人権の花運動



4月24日、大口小学校で「人権の花運動」の集いが開かれました。

伊佐市人権擁護委員の田代さんから講話があり、人権の花であるひまわりを育てることで、明るく思いやりのある心を育むことを目的に、ひまわりの種とプレートが児童へ贈られました。児童を代表して馬門君が「いろいろな心のよさを見つめるとともに、相手のことを考えた行動ができるように一緒に頑張っていきましょう」と誓いのことを述べました。

衛生センターきらり館 落成式



大口曾木地区に新設され4月1日から稼動している衛生センター「きらり館」の落成式が、4月21日に執り行われました。神事やオープニングセレモニーがあり、きらり館建設の関係者や愛称募集で最優秀賞を受賞された方々に感謝状が贈られました。

式の合間には施設の見学などが行われました。専用のタブレットで各設備にある看板のQRコードを読み取ると、説明動画が流れ、設備の役割をわかりやすく学ぶことができます。どなたでも見学可能(平日のみ)ですので、ぜひご利用ください。

事前申込 環境政策課管理係 ☎221060

カヌー艇庫落成記念式



菱刈川北の川内川近くに伊佐市菱刈カヌー競技場艇庫が完成し、4月22日に落成記念式が行われました。行政や競技関係者、カヌーを習う地元小学生ら合わせて約100人が出席し、隈元市長は「川に親しむすべての人々が集い、交流の輪が広がることを期待しています」と話されました。

この艇庫は、2020年の「燃ゆる感動かごしま国体」カヌースプリント競技大会の開催とその後のカヌー振興や地域活性化のための拠点施設として設置されました。約200艇の収納が可能で、トレーニングルームやシャワー更衣室なども備えています。

紙芝居で伝える薩摩義士の偉業



5月1日、大阪府在住の平田鞞久さんが、市内中学生に宝暦治水（木曾川治水工事）の物語をお話しました。

平田さんは、治水工事で総奉行を務めた薩摩藩家老・平田鞞負の末裔です。江戸幕府からの命を受け、薩摩義士が苦難の末に工事を完成させた功績を物語にして、全国で説いて回っています。平田鞞負はかつてこの地方の地頭であったため、伊佐市とも繋がりががあります。

武士のかつらと法被をまとい、自作の紙芝居で紡がれる物語に、生徒たちは真剣な表情で聴き入っていました。

西之表との絆を次代に伝える



戦時中、西之表市から疎開を受け入っていた伊佐市。その当時、受入家庭だった中村貞幸さん（上松）が、母校の山野小学校で6年生を対象に自身の体験を語りました。

疎開してきた児童との学校での思い出や、大人になってからも大切な家族として交流があった事など、時折涙ぐみながら懐かしむようにお話しされました。

6年生は修学旅行で西之表市へ行く前に、両市の交流の歴史を知る貴重な機会となりました。

可憐に咲くすずらんの里で村まつり



富ヶ丘地区にあるすずらんの里で、4月28日・29日に「小さな小さな村まつり」が行われました。約1万株のすずらんがちょうど満開を迎え、多くの来場者で賑わっていました。地域住民のおもてなしや物品販売、29日には太鼓演奏などがあり、たくさんの笑顔であふれていました。

農林水産副大臣が伊佐市視察



硫黄山の噴火後、白濁した川内川流域での稲作を中止した件で、5月14日に礒崎陽輔副大臣が伊佐市や湧水町、えびの市などを視察しました。

菱刈川北の湯之尾堰付近で、隈元市長は川の現状や農家の対応などを説明しました。礒崎副大臣は「一番大事なものは営農意欲を失わないということ。農家の皆さんのお気持ちに応える対策をできるだけ早く明らかにすることが大事」と語りました。

十車十色、アートトラック集結



5月3日にアートトラック愛好家で結成され、伊佐市に本部を置く龍桜船団主催の「トラック祭り」が開催され、きらびやかな装飾をほどこした約200台のアートトラックが集結しました。

昼はステージショーやビンゴ大会などが催され、夜はトラックの電飾が一斉に点灯する「ナイトシーン」で訪れた人を魅了しました。また、イベントの収益金の一部は、子ども発達支援センターたんぼぼに寄附されました。

伊佐市消防操法大会

4月15日、体育センター前駐車場で伊佐市消防操法大会が実施されました。選手は真剣に機敏な動きをみせ、早さと規律を競いました。大会結果は次のとおりです（敬称略）。



◎ポンプ車操法の部

団体優勝 第11分団
個人優秀賞
坂口泰宏（指揮者・第7分団）
日當瀬大佑（1番員・第1分団）
成政智由（1番員・第11分団）
川村浩樹（3番員・第12分団）
山下健太（3番員・第13分団）
吉崎勝彦（4番員・第11分団）



◎小型ポンプ操法の部

団体優勝 第9分団
個人優秀賞
福崎潤（指揮者・第3分団A）
西別府丈弥（指揮者・第3分団B）
有木健祐（1番員・第10分団）
吉松伸彦（2番員・第10分団）
橋口元気（3番員・第2分団A）
田島宗一（3番員・第4分団B）
沖田歩（3番員・第8分団）
柿ノ迫友則（3番員・第9分団）



大切な人・まちを守る消防団 新入団員研修

4月22日、今年度入団した消防団員の初任者研修が行われました。

消防組織法や規則など研修を受けた後、消防本部で規律訓練やホースの取扱要領などの実技訓練を受けました。

市民の生命を守る「使命感」に燃える新入団員は次の方々です（敬称略）。

宮下孝之輔（第1分団上町）
山下誠（第2分団元町）
上水流飛鳥（第2分団元町）
池田優介（第2分団諏訪）
井立田裕也（第5分団尾之上）
帆北嵩人（第5分団石井）
原田侑弥（第5分団石井）

祝迫和希（第6分団小木原）
肥後龍平（第6分団小木原）
大塚聡司（第6分団小木原）
大迫直樹（第8分団崎山）
生駒圭祐（第8分団崎山）
川崎哲孝（第10分団馬場）
児玉省作（第10分団馬場）

山元大（第11分団）
中園陸人（第17分団）
山口由貴（女性分団）
久富木穂香（女性分団）
伊地知悠紀（女性分団）
千鳥恋（女性分団）
多賀夕真（女性分団）

毎日の安全運転を心掛けて



春の全国交通安全運動に合わせて、伊佐市でも交通安全啓発活動が行われました。

4月6日の街頭キャンペーンでは、まごし館前で反射材やチラシ等をドライバーに配り、13日の「伊佐人の波作戦」では、タイヨー大口店前の沿道に21団体・約300人が並んで交通安全を啓発しました。



旧大口南中学校卒業生がベンチ寄贈

旧大口南中学校の昭和48年卒業生が、還暦記念としてベンチを寄贈されました。ありがとうございます。
このベンチは曾木の滝公園展望所に設置されました。

新人自衛官 表敬訪問



4月に自衛隊に入隊した伊佐市出身の新人自衛官6人が市長を表敬訪問し、「福祉に役立ててください」と市に寄附をされました。ありがとうございました。今年度の新人隊員は次のとおりです（敬称略）。

〈写真左上から〉

徳永永遠（戸切） 畑田仁之介（鵜泊）

屋地稜斗（重留東）

〈写真左下から〉

高橋春花（高校西） 西屋希映（奈良野）

下笠啓介（駅前）